

あら  
荒川にはどんな生きものがいるんだろう？

上・中・下流でちがう生きものの種類

自然は、いろいろな種類の「生きもの」と「水」「空気」「土」「太陽の光」の5つの要素が複雑につながり、「生態系」と呼ばれる関係で成り立っています。

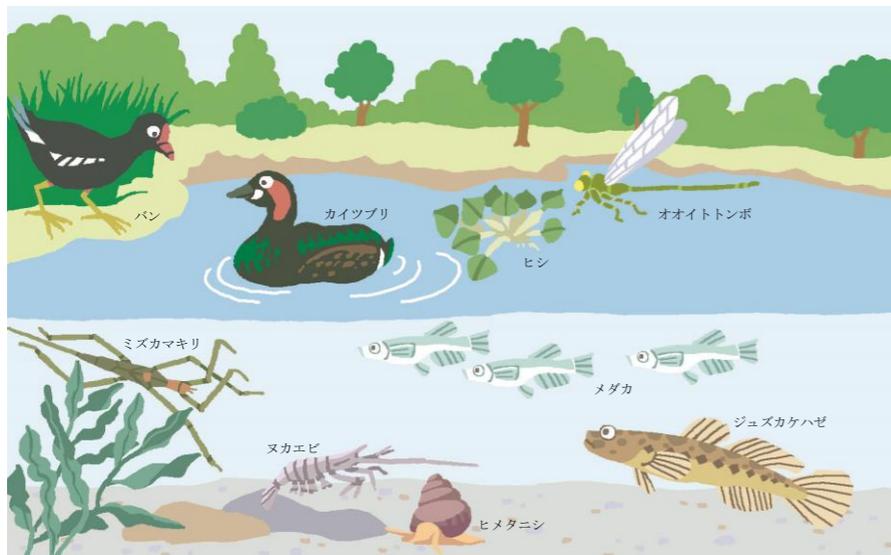
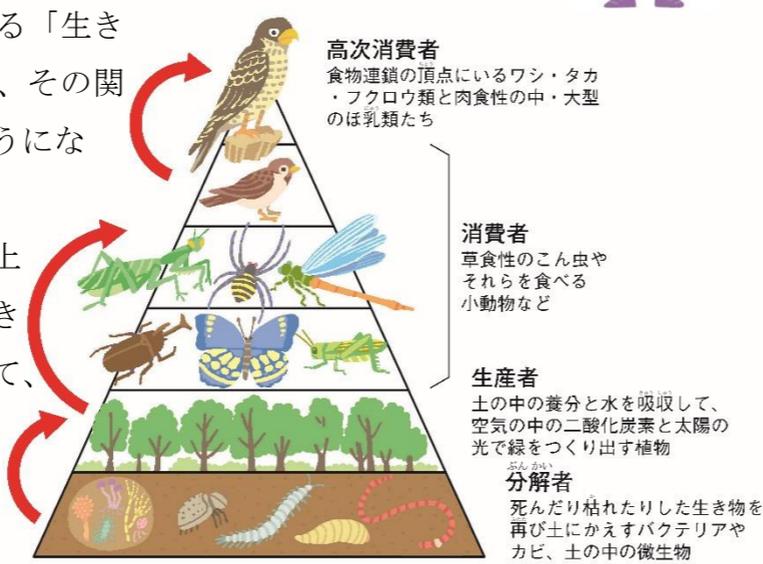
「生きもの」と「生きもの」は全て食物連鎖といわれる「食べる食べられる」の関係でつながり、食物連鎖の上のほうにいる「生きもの」ほど、数（個体数）が少なく、その関係を図にすると右のピラミッドのようになります。

川の流れをふくむ「生態系」は、上流・中流・下流・旧流路などで、大きなちがいをみせる川の流れにあわせて、そこに住んでいる「生きもの」の種類もちがひ、さまざまな自然が育まれています。

生きものには、広いはん囲を移動する種類もいるので、どこでも見ることのできる生きものもいます。



生態系ピラミッド



旧流路

水の流れない沼には、川とはちがう生きものたちが生活しています。



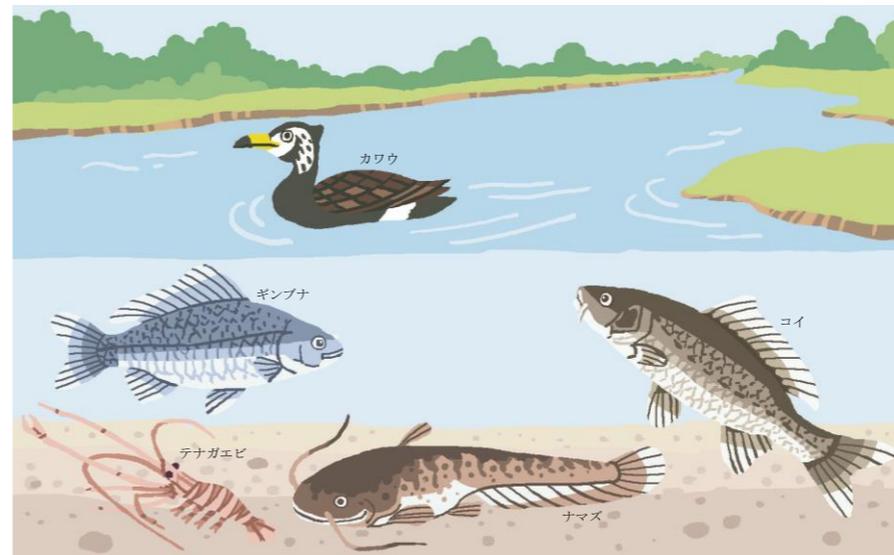
上流

きれいで、冷たい水が好きな生きものたちが生活しています。代表的な魚は、イワナやヤマメです。



中流

砂や小石の川原では、コアジサシが卵を産みます。代表的な魚は、ウグイやオイカワです。



下流

河川敷が広く、ハンノキなどの林が見られるところもあります。代表的な魚は、コイやギンブナです。

